

地震、雷や豪雨等で危険が予想される場合の対応について

地震発生だけでなく最近の気象状況は、急な対応を余儀なくされる場合が多くあります。登下校時や地域で子どもだけで過ごしているときに、天候の急変や地震発生した場合などに、子どもたちが身の安全を自分で守れるように日頃から備えておくことが大切です。

そこで、学校では、各学級で次のことを指導しました。ご家庭においても繰り返しご指導をお願いします。

◎まずは、自分の身を守り、大人に助けを求める。

(1) 地震が発生した場合

- ものが「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」ところで、「だんご虫のポーズ」をとり、おさまるまで待つ。
- 地震がおさまったら、大人のいる安全な場所に避難。
 - ・自宅や学校、一時避難所など、近いところに移動。
 - ・一時避難場所を家族と確認しておく。

(2) 雷が鳴った場合

- 近くの家で頼んで、おさまるまで待たせてもらう。
 - ※軒下は危険なので、できれば、その家の方に、建物の中で待たせてもらうようお願いする。その場合は、必ずお礼を言う。
- 近くに家がない場合は
 - ・木のそばには近寄らない。（4 mは、はなれる）
 - ・くぼ地があればそこでしゃがむ。
- なかなかおさまらない場合は、家に連絡をして迎えにきてもらう。

(3) 猛烈な雨が降ってきた場合

- 近くの「子ども110番の家」に行き、おさまるまで待たせてもらう。
- 状況によっては、家に連絡してもらい、迎えに来てもらう。

<登校時に危険が予想される場合>

登校時、警報が発令されていなくても、雷や豪雨等で危険が予想される場合は、各ご家庭で安全が確認できるまで待機し、その後、登校させてください。児童や保護者様の安全を最優先に考えて対応してください。送っていただいても結構です。

学校としては、状況把握や児童の安全確認を優先しますので、即時に「すぐーる」の配信ができない場合があります。また、電話での問い合わせが重なりますと、学校の電話回線が使用できず緊急対応に支障がおきますので、極力控えていただけますようご協力をお願い致します。